

## 第2学年 英語科学習指導案

日 時 平成30年11月6日(火) 5校時  
学 級 一関市立東山中学校 2年A組  
(男子12名 女子11名 計23名)  
場 所 2年A組  
授業者 教 諭 鈴 木 雅 実  
A L T オウ 齋 佳 瑜

### 1 単元名 PROGRAM 7 “If You Wish to See a Change” (SUNSHINE ENGLISH COURSE 2)

#### 2 単元について

##### (1) 教材について

本単元では、1992年リオの地球サミットにおける当時12歳のセヴァン・カリス・スズキのスピーチを題材とし、その後の彼女の生き方や考え方を知り、地球環境や世界平和について考えさせる内容となっている。関連して、実際に自分たちが学校で行っているボランティア活動や家庭で取り組んでいるエコ活動にも触れることができる教材である。言語材料としては、目的語として用いられる動名詞(~ing)、人や物などの様子を描写するlook、第4文型を形成する give+目的語①+目的語②が初出となっている。いずれも Basic Dialog での導入によって言語使用場面と用法に留意させ、本文の読み取り段階では、これらの文型が文章表現の一部として登場するので、自己表現活動にも有効である。

ここでは本校のCan-Doリスト2学年「書くこと」3)「自分の意見や考えを書くことができる」に対応している。

##### (2) 生徒について

明るく元気な生徒達で、挨拶をしっかりとすることができる。教師の発問に対する反応も良く、活発に発言する。授業中の姿勢も良く、宿題の提出率も高い。一方で基本的な内容の定着が十分でない生徒も見られる。

#### ア 中1英語確認テストの結果から(H30, 1月実施)

	本校	県	±
理解の能力(聞く・読む)	81.0	76.5	+4.5
表現の能力(書く)	54.7	55.3	-0.6
言語・文化の知識・理解	61.7	59.8	+1.9

表現の能力「書くこと」が県平均を0, 6ポイント下回っている。

#### イ 話合いについて

6月28日に全校生徒を対象に行ったアンケート調査より

質問 学年	6 「授業中、ペアやグループで話し合うことが好きだ・どちらかといえば好きだ」とするプラス傾向の回答	10 「授業中、話し合う活動があると学習への意欲が高まる・どちらかといえば高まる」とするプラス傾向の回答
1年生	85.4%	78.1%
2年生	65.9%	55.3%
3年生	56.3%	48.4%

話し合い活動においてはプラス傾向の回答をした生徒の割合は半数をやや上回っている。ペアやグループで話し合うことで、必要な情報を選び取ったり、既習事項を思い出したりしながら、自信をもって英語で表現できると考える。

### (3) 指導について

本単元では、英語の運用能力そのものの向上だけではなく、日本語で考え、英語で意見を発表する力の育成も視野に入れて指導したい。その際、教科書本文の情報だけではなく、他教科やメディアから得た、生徒たちがもっている知識を統合させ、説得力のある意見を構築させるよう学習を展開することに留意したい。グループワークを通して、生徒同士が学び合い、発表し合うことを指導過程に位置付け、生徒たちの英語の言語技術の向上に努めたい。支援の必要な生徒にはALTと協力するなど工夫しながら授業を進めていきたい。

## 3 単元の指導目標と評価

### (1) 単元の目標

- ア 新出の言語材料を用いてペア、グループで言語活動に積極的に取り組む。
- イ 自分の考えや気持ちを、英語で話したり書いたりする。
- ウ 教科書本文や友だちの発表から、書き手や話し手の意向を正しくつかむ。
- エ 動名詞<look / become+形容詞>、<give+人・物>、を使った文の意味、用法、構造を理解する。

### (2) 単元の評価規準

ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 外国語表現の能力	ウ 外国語理解の能力	エ 言語や文化についての知識・理解
ペアやグループ活動において意欲的に取り組んでいる。	「貧しい国の子供たちに何を与えたいのか」自分の気持ちや考えを書くことができる。	聞いたり読んだりした内容の概要を理解することができる。	動名詞<look+形容詞>、<become+形容詞>、<give+人・物 (SVOO)>を含んだ英文の構造を理解している。

## 4 単元の指導計画 (全7時間)

時	主な学習活動	指導上の留意点	◇評価規準 ◆方法
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動名詞&lt;動詞+～ing&gt;を用いた英文の構造を理解する。</li> <li>・自分や友達の好きなことや得意なことを言う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動名詞の用法を理解し、「～することを(が)楽しむ、好き、やめる、始める、終える…」などの表現を理解させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇自分や友達の好きなことを書くことができる。(知識・理解)</li> <li>◆ペアやグループ活動に意欲的に取り組んでいるか観察する。</li> </ul>

2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本文(p. 6 3)の内容理解と、本文を通して&lt;動詞+〜ing&gt;の使い方を理解する。</li> <li>・セヴァンさんの主張を読んで、思ったことを書いてみる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界の貧しい国の子供たちのDVDを視聴させる。</li> <li>・セヴァンさんの考え方と主張について読み取らせる。</li> <li>・セヴァンさんのメッセージに対する自分の考えや気持ちを書かせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇本文の内容を理解できる。(理解)</li> <li>◆本文の内容を理解できているか、ワークシートの生徒の記述から読み取る。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・&lt;look+形容詞&gt;,&lt;become+形容詞&gt;を用いた文の構造を理解する。</li> <li>・「〜に見える」「〜になる」と言う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・&lt;look+形容詞&gt;を用いた英文の意味、語順について理解させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇「〜に見える」「〜になる」と書くことができる。(知識・理解)</li> <li>◆ペアやグループ活動に意欲的に取り組んでいるか観察する。</li> </ul>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本文(p. 6 5)の内容理解と本文を通して&lt;look+形容詞&gt;,&lt;become+形容詞&gt;の使い方を理解する。</li> <li>・セヴァンさんのメッセージからわかったことや感想を書いてみる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スピーチ後の変化と広い視野をもった考え方について読み取らせる。</li> <li>・セヴァンさんのメッセージに対する自分の考えや気持ちを書かせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇本文の内容を理解できる。(理解)</li> <li>◆本文の内容を理解できているか、ワークシートの生徒の記述から読み取る。</li> </ul>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・&lt;give+人+物&gt;を用いた文の構造を理解する。</li> <li>・「誰かに何かを与える。」という文を作ってみる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・&lt;give+人+物&gt;を用いた英文の正しい意味、語順について理解させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇「誰かに何かを与える」の文構造を理解し、書くことができる。(知識・理解)</li> <li>◆ペアやグループ活動に意欲的に取り組んでいるか観察する。</li> </ul>
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本文(p. 6 7)の内容理解と本文を通して&lt;give+人+物&gt;の使い方を理解する。</li> <li>・印象に残った語句や文を抜き出し、感想を書いてみる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・セヴァンさんの体験からくる確信と主張とは何かを読み取らせる。</li> <li>・セヴァンさんのメッセージに対する自分の考えや気持ちを書かせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇本文の内容を理解できる。(理解)</li> <li>◆本文の内容を理解できているか、ワークシートから読み取る。</li> </ul>
7 本 時	<ul style="list-style-type: none"> <li>・貧しい国の子供たちの写真を見て、どのように見えるか、何を寄付したいか書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・&lt;give+人+物&gt;を用いて自分の考えや気持ちを書かせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇「貧しい国の子供たちに何を与えたいのか」書くことができる。(表現)</li> <li>◆ペアやグループ活動に意欲的に取り組んでいるか観察する。</li> </ul>

## 5 本時の構想

### (1) 本時の目標

「貧しい国の子供たちに何を与えたいのか、自分の考えと理由を英語で表現できる。」(表現)

### (2) 本時の評価規準

観点	A 十分満足できる	B 概ね満足できる	支援を要する生徒への手立て
表現（書くこと）	<give+人+物>を使った文となぜその物を送りたいか、理由を正しく書くことができる。	<give+人+物>を使った文となぜその物を送りたいか、理由を書くことができる。	ヒントになる単語を示し、ペアになっている相手と協力させる。

### (3) 本時の指導構想

自分の考えとその理由や気持ちを英文で書かせる。書けなくて困っている友達をペアの相手に支援させる。その後グループで意見交換をさせ、グループの意見をまとめる。発表段階では各グループの意見を紹介し、認め合わせたい。最終的には生徒ひとり一人が本時の学びをしっかり振り返り、達成感を得ると同時に友達の記事の良さにも気付かせたい。

### (4) 研究主題・仮説との関わりについて

#### ア 仮説（1）① 話し合う必要性の高いテーマを設定する

貧しい国の子供たちに何を寄付したいかを考えさせたい。そのためには飢餓に苦しむ子供たちやストリートチルドレンの写真を提示して理解させたい。その様子から何を寄付したいか思考させたい。

また視覚に訴える導入を行い、生徒に興味関心をもたせたい。

#### イ 仮説（2）① 自分の意見に根拠をもたせる

なぜそれを寄付したいと思うのか、他の物よりその贈り物が貧しい国の子供たちのために役立つ理由を話し合いの場で明確にさせたい。

### (5) 本時の展開

段階	学習内容	学習活動	形態	指導上の工夫および留意点 ◇本時のねらいの評価 ☆研究仮設の実践
導入 (10分)	あいさつ 1 既習事項の復習 2 学習課題の把握	1 <give+人+物>を用いた文の練習をする。 2 ALTの話聞き、貧しい国の子供たちに何を寄付するか考える。	一斉 個別	絵を見て意見を述べる表現練習をする。

		学習課題 自分だったら貧しい国の子供に何を寄付するか？			
展 開 ( 35 分 )	3 基本文型の練習	3 写真を選んで基本文型を表現する練習を行う。	ペア	ペアで口頭練習を行う。	
	4 英作文問題	4 ワークシートに記入。	個人	☆仮説(1)①【テーマ設定】 個人で考え、書けない場合は、ペアで協力する。	◇<give+人+物>を使った文とその理由を書くことができる。
	5 グループ討議	5 グループで意見交換し、一番良い意見を選ぶ。	グループ	☆仮説(2)①【根拠をもたせる】 なぜそれを寄付したいか話し合わせ、代表を選ばせる。	
	6 発表	6 グループの代表が意見を発表する。	一斉		◇ミニホワイトボードへの記述で読み取る。
終 末 ( 5 分 )	7 まとめ	7 発表に対する ALT のコメントを聞く。			
	8 振り返り	8 学習課題が解決できたか確認する。			◇ ワークシートの記述で読み取る。
	あいさつ				

(6) 板書計画

学習課題 自分だったら貧しい国の子供に何を寄付するか？		ヒント
写真	写真	グループ 1 の意見
写真	写真	グループ 2 の意見
「人にものを一与える」 <動詞+人+もの>の形 I'll give you a present. 人      もの		グループ 3 の意見
<動詞+もの+人>の形 I'll give a present to you. もの      人		グループ 4 の意見
		グループ 5 の意見
		まとめ 「私は石澤先生に～をあげる。」は _____ と言う。

# Program 7

Class No Name \_\_\_\_\_

学習課題 自分だったら貧しい国の子供に何を寄付するか？

- 1 今まで学習した表現を使って、自分が選んだ写真についての自分の考えの入った紹介文を書きましょう (①何の写真か, ②子供たちはどう見えるか, ③貧しい子供たちに何を寄付したいか, ④寄付したい理由、自分の願い等)

例

- ① This is a picture of poor family. \_\_\_\_\_  
② They look terrible. \_\_\_\_\_  
③ I'll give them a house. \_\_\_\_\_  
④ I want to see a happy family. \_\_\_\_\_

写真の記号

① \_\_\_\_\_

② \_\_\_\_\_

③ \_\_\_\_\_

④ \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

- 2 今日の授業を振り返ってみましょう。

貧しい国の子供がどのように見えるか、何を寄付したいか、書くことができましたか。

○をつけてください。 ( A B C D )

授業を受けての感想

\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_